

## 6. 水巻町南部地域の課題

これまでの検討を踏まえ、南部地域の課題を下記のように整理する。

◆水巻町南部地域の現況◆	
水巻町の概要	位置づけ ・北九州市圏のベッドタウンとして発展
水巻町の都市構造	周辺都市との繋がり ・通勤・通学ともに、北九州市への流動が多い ・日中は町外への通勤・通学が多い(流出>流入)
	用途地域と施設立地 ・中心拠点・生活拠点及び周辺地区は商業系土地利用、その他地区は概ね住宅地を形成 ・町内各地に大型商業施設を有し、JR 東水巻駅周辺でも近年開業
	道路交通の状況 ・東西に横断する国道3号、南北に縦断する(一)水巻芦屋線・(一)中間水巻線・(主)直方水巻線による主要な道路網を形成 ・都市計画道路として(都)砂山丸の内線・(都)古屋伊左座線が東西軸を強化
	公共交通の状況 ・鉄道は JR 鹿児島本線・JR 筑豊本線 (JR 福北ゆたか線) を有し、周辺都市や福岡市・北九州市等との連絡が多頻度で確保 ・バスは北九州市営バス(北部線・南部循環線)、水巻福祉ゆめあいバス(東回り・西回り・南北線) ・北九州市営バス(北部線)は水巻町と折尾方面を連絡し、その他路線は町内各地を結ぶ
水巻町南部地域の位置づけ	・中心拠点の JR 水巻駅周辺と生活拠点の JR 東水巻駅周辺を中心としてまちを形成 ・道路網は、南北軸として(一)中間水巻線が整備され、東西軸として遠賀川の渡河橋を含む(一)中間水巻遠賀線(都市計画道路の変更(R5.12時点未整備)により位置づけ)が計画
人口・世帯数	人口の推移 ・町全体と南部地域ともに平成12年以降減少傾向 ・南部地域は町全体の人口減少幅よりも小さい
	年齢区分別人口の推移 ・町全体と南部地域ともに、高齢者人口は増加、生産年齢人口は減少、年少人口は近年微増
	世帯数の推移 ・世帯数は町全体と南部地域ともに微増傾向 ・なお、1世帯あたり人員は町全体と南部地域ともに微減傾向
	人口分布(全世代) H27→R2 増減：猪熊地区や JR 水巻駅・東水巻駅周辺地区で増加 R2→R22(将来) 増減：南部地域全体で大幅な減少
	年少人口分布 H27→R2 増減：猪熊地区や下二・立屋敷・伊左座地区での増加が顕著 R2→R22(将来) 増減：おかの台・牟田地区や吉田東・宮尾台地区での増加に対して、下二・立屋敷・伊左座地区での減少が顕著
	生産年齢人口分布 H27→R2 増減：JR 水巻駅周辺での増加が顕著 R2→R22(将来) 増減：町全体での減少が著しい
	高齢者人口分布 H27→R2 増減：町全体で増加傾向 R2→R22(将来) 増減：古賀・猪熊地区や宮尾台・伊左座・二西地区で増加(南部地域の増加は局所的でその他地区は減少)
土地利用の状況	用途地域の状況 ・南部地域の用途地域は、住居系84%、商業系4%、工業系12% ・なお、商業系用途地域は JR 水巻駅周辺・(一)中間水巻線沿線・JR 東水巻駅周辺等で指定
	市街地の拡大状況 S62→R3：JR 水巻駅北側地区や吉田西・下二西・立屋敷・伊左座・二東・二西地区で土地利用が拡大 ・JR 東水巻駅周辺は S62 以前より市街地を形成
	空き家の状況 ・町全体に分布 ・約8~9割が住居系用途地域に分布

◆上位・関連計画◆	
将来像・目標	・北九州市を中心とする多心ネットワーク ・コンパクトで誰もが快適に暮らすことのできる安全・安心の環境 ・子育てにやさしい、居心地いい、働きやすい
人口・居住	・町営住宅のあり方等の検討を踏まえた長寿寿命化・更新・縮小・廃止等、施設の最適化 ・空き家の解決・未然防止や転入者へ住居活用 ・移住定住の促進
土地利用	住宅地 ・町営住宅の老朽化への対応 ・民間企業の力を利用した宅地造成・分譲
	農地・集落 ・現在の形態を保持し、無秩序な市街化を抑制
	商業地 ・鉄道駅周辺等の拠点は商業業務地とし、必要に応じて住宅と医療・福祉施設等の複合系施設を配置 ・(一)中間水巻線沿線は店舗・事務所等の各種機能を集積 ・(都) 古屋伊左座線沿線への商業施設の誘致
工業地	・吉田工業団地は現在の工業系土地利用を維持
拠点	・都市拠点：JR 水巻駅周辺、生活拠点：JR 東水巻駅周辺、産業拠点：吉田工業団地 ・駅周辺ににぎわい施設等を整備 ・JR 東水巻駅エリアでの吉田地域のまちづくり ・JR 東水巻駅西側は、町営住宅の跡地利用による駅前広場の整備等の交通結節機能強化
公共交通	・JR 水巻駅・東水巻駅への駅前広場・街路による、玄関口にふさわしい交通結節点の形成 ・JR 各路線の利便性向上とバス路線の維持 ・公共交通ネットワーク(バス路線)の確保・維持
道路	・拠点間を結ぶ公共交通軸等の幹線道路を適切に配置した道路ネットワークの形成 ・南部地域は重点的に利便性及び安全性確保のための交通環境を整備(歩道未整備区間が多い)
緑地・公園	・身近で様々な種類の公園・緑地等を整備 ・遠賀川河川敷公園の改修・整備(憩いの場)
景観	・自然景観や調和のとれた良好な街並み景観及び歴史・文化的な景観の保全・育成
防災・防犯	・避難所等の様々な機能を有する公園・緑地等の積極的な確保と適正な維持・配置 ・避難路となる道路の維持・整備 ・建物の不燃化・耐震化の促進 ・防犯・防災の取組みによる子育て環境の充実
公共施設	・公民館、スポーツ・レクリエーション施設、子育て支援施設、高齢者・障がい者施設等の集約化・複合化 ・いきいきほーるの有効活用、新サービス導入 ・子育て支援拠点施設の広域利用の推進 ・3歳未満児の受入れ保育施設の整備

◆町内アンケート結果(住民等の意向)◆			
地域の現状・課題	回答者全体	満足：居住環境、買い物のしやすさ、自然環境 不満：歩道等での歩行者・自転車の安全性、公共交通の利便性 (※下線部は今後の重要度が高い項目) 今後優先的な注力項目：公共交通の利便性、歩行者・自転車の安全性確保、生活道路の整備、防犯対策、防火・防災対策、福祉施設の充実、通勤・通学のアクセス性	
	40歳未満	※回答者全体の傾向に加え、下記の重要度の高さが顕著 ・子育て支援サービスの充実、育児施設の利用しやすさ、教育施設の充実、児童館等の施設の利用しやすさ、公園の充実	
南部地域のまちづくり		将来都市像(上位5位)	必要施策(上位5位)
	水巻駅周辺	①公共交通の整備 ②店舗が集まる賑わい・活気 ③交通結節が整っている ④歩行者の交通安全が確保 ⑤良好な居住環境	①公共交通機関の整備 ②駅前ロータリーの整備 ③交通安全対策の充実 ④商業の活性化 ⑤生活道路の整備
	東水巻駅周辺	①公共交通の整備 ②店舗が集まる賑わい・活気 ③交通結節が整っている ④防犯面に配慮した安全性 ⑤良好な居住環境	①公共交通機関の整備 ②駅前ロータリーの整備 ③商業の活性化 ④防犯対策の充実 ⑤公営住宅の整備
	幹線道路沿線	①歩行者の交通安全が確保 ②公共交通の整備 ③店舗が集まる賑わい・活気 ④医療・福祉施設が充実 ⑤道路ネットワークの形成	①交通安全対策の充実 ②広域幹線道路の整備 ③公共交通機関の整備 ④商業の活性化 ⑤生活道路の整備
	居住エリア	①良好な居住環境 ②防犯面に配慮した安全性 ③災害や火災に強い ④身近な公園の充実 ⑤医療・福祉施設が充実	①居住環境の充実 ②生活道路の整備 ③防犯対策の充実 ④公園・緑地の整備 ⑤高齢者施策の充実
	定住・住み替え意向	今後も住み続けたい：約7割<理由>居住環境、買い物の利便性 住み替えたい：約1割<理由>生活道路・幹線道路の整備、歩行者・自転車の安全性、公共交通の利便性	
「住みたい」と望む場所	生活に便利な施設が集まる地区及びその周辺：約7割 <必要な条件>買い物などの日常生活の利便性、医療施設の立地、公共交通の利便性、防犯対策の充実等		
日常行動	通勤・通学：町外(八幡西区・折尾駅周辺)への外出が多い 買い物：町内及び北部・南部地域内での利用が多い →なお、南部地域の伊左座・頃末地区は北部地域への利用が多い 通院：新水巻病院及びその周辺の利用が多い		
◆町外アンケート結果(住民等の意向)◆			
水巻町のイメージ	・良好な居住環境・自然への配慮へのイメージが強い ・一方、企業集積・防犯面での安全性・情報化推進へのイメージなし		
「住みたい」と望む場所	生活に便利な施設が集まる地区及びその周辺：約8割 <必要な条件>買い物などの日常生活の利便性、通勤・通学の利便性等		

◆「JR 東水巻駅周辺地区まちづくり懇話会」の意見◆

南部地域の魅力・問題点		魅力（上位5位）	問題点（上位5位）
		①医療サービスが充実(18歳まで医療費無料等) ②生活利便性が高い(町がコンパクト、買い物しやすい等) ③恵まれた自然環境 ④良好なコミュニティ、地域の見守りが豊富 ⑤イベントによる地域活性化(コスモス祭り等)	①街灯が不足、暗い ②都市施設、生活利便施設が不足(銀行、本屋、複合商業施設等) ③学生・若者の活躍が少ない ④魅力・シンボル性が不足 ⑤鉄道駅(東水巻駅)の機能が不足(駐車場がない、無人等)
世代別に観た魅力・問題点	若者・学生	・通学に便利	・駅周辺での待ち時間対応の場なし ・若者をとどめる魅力なし
	子育て世代	・伊左座校区のコミュニティ良好 ・地域見守り活動が豊富	・産婦人科・小児救急なし ・北部地域に比べて南部地域は公園・保育施設が少ない
	X世代	・住宅街が多い ・スーパーが多く生活が便利	・鉄道駅の機能不足 ・高齢者以外のサポートが少ない
	高齢者	・高齢者のサポートが充実	・地区公民館の立地が悪く不便
まちづくりイメージ	拠点エリア	①東水巻駅の交通拠点としての機能強化	交通結節点の機能強化、安全性の確保、利便性の向上、交通円滑性の確保 等
		②シンボル、オリジナルティの創出	東水巻のシンボル創出、東水巻駅舎の活用、他地域との差別化 等
		③賑わい・拠点性の創出	人・若者が集まる、町外からの来訪者が集まる、子育て世代を増やす、世代間の交流・コミュニティの創出、拠点施設の整備、生活利便機能・商業機能の強化 等
	その他周辺	⑤安心して生活できる	安全性の確保、防犯機能の強化、防災機能の強化 等
		⑥居住環境の充実	生活利便性の向上、安心な子育て環境づくり、子育て支援 等
		③賑わい・拠点性の創出	拠点性の強化、南部公民館の利活用促進 等
まちづくりの具体取組内容と実施主体	①東水巻駅の交通拠点としての機能強化	行政：ロータリー等を整備	等
		民間：バス本数を増便	
	②シンボル、オリジナルティの創出	行政：公園・広場等を整備、地域固有の景観の創出、地域の歴史発信	等
		地域住民：既存の緑を活かす・増やす、地域の歴史発信、イベント開催 民間：名菓をつくる	
	③賑わい・拠点性の創出	行政：交通利便性の確保・向上、コミュニティセンター・公園等の整備、多様なイベントの企画・情報発信、活動の場所・施設整備地の提供、飲食店の誘致	等
		地域住民：地域活動への活発的・積極的な関与(地域役員等)、拠点施設等の魅力アピール、南部公民館の活用検討 地域外の人：地域外からの温泉利用、施設運営への関与(学生バイト) 民間：学生が来やすい場所の整備・PR、放課後預かりサービス等の実施、多様なイベントの企画・情報発信、飲食店の出店(地域内事業者)	
④地域の活性化	行政：広報の継続(高齢者向け) 地域住民：独自イベントの開催、地域イベントへの参加(学生)、情報発信(学生) 地域外の人：地域イベントへの参加(学生)、情報発信(学生)	等	
⑤安心して生活できる	行政：情報発信、防犯カメラ設置 地域住民：危険箇所の情報伝達、地域の意見・要望収集、行政と連携(地区長)、地域の見守り・美化等の継続	等	
⑥居住環境の充実	行政：子育て支援施設・保育園等の整備、人が集まる場所(公民館等)整備 地域住民：地域イベント開催、地域の見守り継続、人が集まるコミュニティ・場づくり、自治会の設置・育成、自治会参加を促す 民間：飲食店等の出店(地域内事業者)、保育施・児童館等の設置、施設の運営・運用(民間委託)	等	

◆南部地域の課題◆

- 課題①：地域の特性を活かした居住環境の充実**  
・住みやすさ・買い物のしやすさ・自然環境の良さを活かすとともに、さらなる向上を図りつつ、魅力ある居住環境を形成  
・生産年齢人口と年少人口の増加に寄与する移住・定住の促進
- 課題②：多世代循環型まちづくりの創出**  
・生産年齢人口と年少人口の増加に寄与するまちづくりとともに、高齢者にも住みやすいまちづくりを実施  
・少子高齢化が進む中、年少・生産年齢・老年による各世代が安心・快適な生活を維持し、多世代による循環するまちづくりを創出
- 課題③：住宅・商業・工業等のメリハリのある土地利用の形成**  
・住宅地、商業業務地(幹線道路沿線商業地を含む)、工業地、農地・集落等の特性を活かした土地利用の形成
- 課題④：各種の機能拡充・整備による地域の活性化と生活利便性の向上**  
・都市拠点(JR水巻駅周辺)、生活拠点(JR東水巻駅周辺)、産業拠点(吉田工業団地)等への必要となる機能の拡充
- 課題⑤：交通結節機能の向上と公共交通ネットワークの確保・維持**  
・鉄道駅(JR水巻駅・東水巻駅)において、まちの玄関口としての形成とともに、交通結節機能を向上  
・南部地域の各エリアからの移動を支援する公共交通機関の確保・維持
- 課題⑥：町内及び町内外の交流・連携を図る道路ネットワークの形成**  
・町内の各拠点とともに、北九州市や遠賀川で分断される隣接都市との交流・連携を促進
- 課題⑦：オープンスペースの確保・活用による交流と憩いの場の形成**  
・緑地や公園等、遊休地や空き地等を有効活用し、適正配置・規模によるオープンスペースの確保  
・人々の交流やふれあい空間の形成
- 課題⑧：各所のシーンに応じた景観の形成**  
・良好な自然や歴史・文化等の景観の保全・育成  
・鉄道駅周辺等の人が多く集まる場所において、多様な機能が集積する魅力的で賑わいある景観を創出
- 課題⑨：安全に安心して暮らせる生活環境の形成**  
・災害時に対応可能な避難路・避難所の確保とともに、防災情報発信の充実と住民への周知による地域防災力の向上  
・街灯整備や安全性の高い公共空間整備等による防犯性の高いまちの形成  
・狹隘区間を有する生活道路等への機能拡充と安全性確保
- 課題⑩：コミュニティの形成や各種まちづくりによる活性化**  
・各世代の交流による良好なコミュニティの形成  
・企業誘致をはじめ、民間企業による就業の場の形成と地域の活性化

◆JR 東水巻駅周辺地区の課題◆

- 課題⑪：交通結節点としての機能強化**  
・鉄道及びバスや自家用車等による複数の交通手段の交通結節機能を有することで、南部地域の玄関口としての拠点性を向上
- 課題⑫：拠点性向上に向けた活気と賑わいの創造**  
・現在の駅周辺のイメージを払拭し、拠点性向上の一環となるよう、人の交流や建物・景観の華やかさ等、南部地域の玄関口としての活気と賑わいを創出
- 課題⑬：様々な人が集い・交流する空間の形成**  
・町内居住者の通勤・通学・買い物等での利用駅として、また町外居住者がイベント等で訪れる駅として、様々な人が集まり、交流できる拠点空間を形成
- 課題⑭：利便性と安全性の確保**  
・鉄道駅としての機能を向上するとともに、様々な人が利用できるユニバーサルデザインの導入と様々な人が安全に安心して利用できる空間を形成